

催 事 案 内

■平成20年京都御苑自然教室

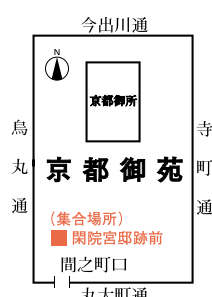
一般市民を対象とした自然教室を本年度は、下記の通り予定しています。都市の中では貴重な緑をもつ御苑で春の自然を観察しましょう。

春の自然教室 “春の御苑にふれよう”

4月29日(祝・昭和の日) 9:30~12:00

主 催 環境省京都御苑管理事務所
(財)国民公園協会 京都御苑
指 導 京都自然観察学習会の先生方に指導して頂きます。
内 容 春の御苑にはどんな草花やキノコがあり、どんな虫や鳥たちが生活しているか観察します。

集合場所 京都御苑 閑院宮邸跡前
(上京区京都御苑南西角 間之町口)



受付方法 当日、集合場所に9:30頃までにお集まり下さい。

参加費 無料
その他 筆記用具をご持参下さい。手持ちのルーペ、双眼鏡、図鑑などの観察用具があればご持参下さい。

問い合わせ 京都御苑管理事務所 TEL.075(211)6348
(財)国民公園協会京都御苑 TEL.075(211)6364

*以降自然教室予定
夏の自然教室“夏の御苑にふれよう”
平成20年7月21日(祝・海の日) 9:30~12:00
集合場所 富小路休憩所前

会 員 募 集

財団法人国民公園協会 京都御苑

年会費

- 普通会員 1,000円以上
- 賛助会員(会社・団体) 10,000円以上

会員への特典

1. 葵祭、時代祭の招待券を進呈します。(ただし、普通会員は会費4,000円以上の方に限ります。)
2. 本会発行物をそのつど送付します。

■申し込み、問い合わせ先

(財)国民公園協会 京都御苑
住所 京都市上京区京都御苑内
〒602-0881 TEL.075(211)6364

御 苑 の 花 暦

和名	開花期	主に見られる場所
ウメ	2月中旬~3月中旬	梅 林
モモ	3月中旬~4月中旬	桃 林
サクラ		
イトザクラ	3月下旬~4月中旬	近衛邸跡周辺
ヤマザクラ	4月初旬~4月中旬	苑内全域
サトザクラ	4月中旬~4月下旬	出水の小川付近

京都御所・春の一般公開

期間 4月9日(水)~4月13日(日) 9:00~15:00

なお、詳細については
3月上旬に宮内庁から発表されます。

問い合わせ先: 宮内庁京都事務所 TEL: 075(211)1211



巨木に発生するコフキサルノコシカケ

京都御苑は四季折々多様なきのこを観察することができ、市街地の広大なビオトープです。毎年発生を繰り返すきのこに出会うたびにその季節を実感し、自然の循環を感じることができ、樹木と共生する菌根菌、倒木や落葉を分解する木材腐朽菌が一年中活動を続けています。

京都御苑の北東方向に位置する「母と子の森」では巨大な広葉樹の倒木が置かれていて、その材の観察を続けていると季節ごとにいろいろなきのこが発生していることに気がつき、楽しい観察ができます。晩秋から冬の間には見事なヒラタケやアラゲキクラゲ、ヒラタケなどは担子菌類です。担子器という器官の先端に胞子をつけ、成熟すると一瞬で

ケが発生し、アラゲキクラゲはたえず発生を繰り返しています。コフキサルノコシカケは材の周囲一面に成長を続けています。こうして木材腐朽菌としてのきのこがリグニンやセルロースという木材を構成している養分を食べ、その材を分解してゆく様子を観察していると自然の巧妙な仕組みに驚かされます。二年前、この巨木はきれいな樹皮で覆われていました。しかし現在ではすでに菌類による分解作業が進行して次第にその姿を変えています。この大きな樹木が何年で土に戻ってゆかを観察していると興味は尽きません。

コフキサルノコシカケやアラゲキクラゲ、ヒラタケなどは担子菌類です。担子器という器官の先端に胞子をつけ、成熟すると一瞬で

すが煙のように胞子を噴出します。運よくこのタイミングを観察することができると非常に面白いです。コフキサルノコシカケは下面の白いところに管孔と小さな孔が沢山あり、その内部から胞子を噴出します。管孔は十倍程度のルーペで観察するとよくわかります。

ヒラタケはカサ裏のヒダの両面に担子器を形成し、キクラゲ類はこの表面から少し内部のところに二個と

か四個の袋状の部屋を作り、その先端に胞子を作り、これを飛ばす構造は顕微鏡を使わなければ観察することができません。とても小さな世界ですが、四倍程度で観察するとそこには不思議な世界が広がっています。機会があれば顕微鏡を使って観察されることをおすすめします。

昨年十一月には「母と子の森」の東林内で「メムラサキシメジ」が



昨年11月に観察したヒメムラサキシメジ

みつかりました。カサの表面と柄が青紫色で、カサ裏のヒダは真っ白のとても綺麗な小型のきのこです。地中に埋もれたマツカサに菌糸がつながっているマツカサキノコモドキ、ニセマツカサシメジ、マツカサタケもみつかりました。冬はきのこが観られないという気がしますがそのようなことはありません。猛毒きのこ「ニガクリタケ」もほぼ一年中観察できます。さらにエノキタケも発見できるでしょう。こうして春の芽吹きまでの間もきのこはそれぞれの役割を果たすために次々と発生しています。冬虫夏草のオオセミタケ、ツバキクチャワンタケ、バラ科の樹下に発生するハルシメジも三月になると毎年発生します。



テニスコート

国民公園・京都御苑の運動施設利用について

京都御苑は東西約七百メートル、南北約千三百メートルの敷地内にあり、京都御所、大宮・仙洞御所を除いた六十三ヘクタールの広さを誇ります。京都市内中心部にあって一日平均一万二千人に利用される、緑に恵まれた憩いの公園です。

苑内南東部「富小路ゾーン」に運動広場・テニスコート・ゲートボール場があります。運動広場は地域の人々のレクリエーション施設としてはもちろんのこと、日祝日は社会人のリーグ利用も多い広場です。例年春には上京区体育振興会の成年壮年ソフトボール大会、民間企業の野球大会など行事利用も多くみかけられます。平日および土曜日は大学生のリーグ利用も盛んで、社会人・大学生ともに二十年以上前から利用しているチームもありました。五面あるテニスコートは「全天候型砂入り人工芝」が好評で、連日朝九時から夕方まで

で予約でいっぱい状況です。平日の午前・午後を利用してママさんテニスチームの中には団体や全国大会に出場している強豪チームもある一方、シニアや団塊世代のレクリエーションなど、幅広く利用されています。ゲートボール場は平日の練習利用のほか、毎月四・五回の大会が開催されています。

また苑内北東部「今出川広場」は、年間を通じて土・日曜日は少年野球の大会や練習試合が行われ、平日は大学生の利用があります。今後もスポーツ振興に貢献すべく、開かれた運動施設として多くの方々のご利用をお待ちしております。

利用手続き並びに利用料金は次のとおりです。

(財)国民公園協会
京都御苑総務課外村
運動施設

苑内には、運動広場、テニスコート、ゲートボール場の各施設があります。

事前の申込により、以下の使用料で利用頂いています。

・運動広場
富小路広場(6面) 1時間500円
今出川広場(3面) 1時間400円
・テニスコート(5面) 土、日、祝日 1時間

・ゲートボール場(3面) 平日 1300円
1時間3000円



富小路広場